

交通事故を起こさないための防衛運転法 Vol.11

① 横断歩道は歩行者優先！ 歩行者の保護はドライバーの義務！

★ 横断歩道等に接近する場合

→横断者がいれば停止できる速度で進行する義務

★ 横断しようとする歩行者や横断中の歩行者がいる場合→必ず一時停止し、歩行者等の通行を妨げてはならない

※横断歩道のない交差点でも歩行者優先

【道路交通法38条の2】

※ 横断歩行者等妨害等違反

- 違反点数2点
- 反則金～大型車12,000円、普通車9,000円、二輪7,000円など

信号のない横断歩道に歩行者あり

R7年鹿児島県で一時停止する車は**53.2%**
全国平均56.7%



② 3（サン）ライトを実践しよう！

★ 夜間走行時は、歩行者や障害物などを早めに発見するため、制限速度を守り、**対向車や直前を走行する車両がない時には、原則上向きライトで走行し、進路前方の安全を確認**

★ **日没30分前には、ライトを点灯し、夕暮れ時の交通事故を防止**

★ **トンネル内もライトを点灯し、自車の存在を周囲に知らせて事故防止**

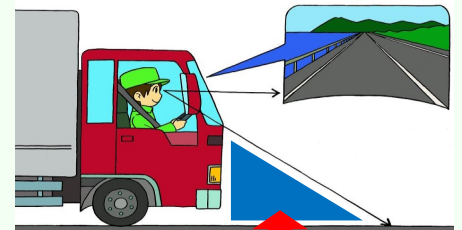


③ 発進、後退の際は、周囲の安全を確認しよう！

★ 乗車前に車両を一周し、死角部分に子供などがいないかを確認

★ 発進時は、ミラーと目視で、後方などからの車両や歩行者の有無を確認

★ 後退時は、後方の死角が多いため、バックモニターだけに頼らず、**必ず目視で安全を確認し、また、車高の高い車は、上方の障害物なども確認**



運転席からは見えない死角

④ 常に、心と時間に余裕を持って、安全運転を意識して運転しよう！

交通事故は、ちょっとした心の隙や油断、さらには、錯覚や思い込みなどのヒューマンエラーなどが原因で起こる

★ 運転技術や車両の性能を過信せず、常に危険を予測し、**かもしれない運転を励行**

★ 心と時間に余裕を持ち、「事故を起こさない」という意識で、緊張感を持って運転

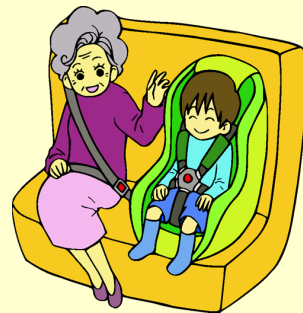
★ 一時停止場所では確実に停止し、右左の安全確認を徹底する



⑤ 全席シートベルト着用及びチャイルドシートの正しい着用の徹底！

★ 道路交通法では、一定の要件に該当する場合を除き、後部座席を含めた全席シートベルトの着用は義務→全席シートベルト着用を出発の合図に！

★ 6歳未満の幼児を乗せる時は、子供の命を守るチャイルドシートを必ず着用！（6歳以上の子供であっても、体格等の事情により、シートベルトを適切に着用できない場合チャイルドシートを適切に利用しましょう）



全国調査結果（令和7年）
鹿児島県の一般道路での後部座席シートベルトの着用率 **35.7%** 全国平均45.8%



全国調査結果（令和7年）
鹿児島県のチャイルドシート着用率 **68.6%** 全国平均82.4%

⑥ 自転車も車両の仲間、交通ルールを守ろう！

令和7年中、自転車に関する交通事故が202件発生、1人死亡

令和7年中、鹿児島県において、自転車に関する交通事故で、自転車乗用中の方のヘルメット着用率は25.9%にとどまっています。

交通事故に遭った際、頭部への被害を軽減するため、自転車に乗る時はヘルメットを着用しましょう。



◎自転車も損害賠償保険に加入しましょう！

平成29年に「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」が施行され、自転車損害賠償保険等への加入が義務づけられました。自転車は道路交通法では「車両」であり、歩行者と衝突して負傷させた場合には「加害者」になることもあります。過去には、他県において、小学生が運転する自転車が歩行者と衝突し、歩行者が重傷となった交通事故の民事裁判で、小学生の保護者に対し約1億円近い損害賠償を命じる判決が出ています。

★自転車の交通違反に対し、交通反則通告制度（青切符）の適用開始！

令和8年4月1日から、16歳以上の自転車利用者の交通違反（対象となる違反行為は113種類）に対する交通反則通告制度（いわゆる青切符）の適用が開始されます。反則行為の一例と反則金額は、ながらスマホ12,000円、信号無視6,000円、車道の右側通行6,000円、一時不停止5,000円等となっています。詳しくは県警ホームページを御覧ください。

⑦ 飲酒運転の根絶！！



※自転車の飲酒運転も罰せられます。

※車両の提供者や酒類の提供者、同乗者にも罰則あり

※「二日酔い」での運転も厳禁！

令和7年飲酒運転関連事故（第一当事者一般原付以上）

件数：29件、死者：4人（鹿児島県）

酒酔い運転	罰則	5年以下の拘禁刑又は100万円以下の罰金
	点数	35点 免許取消
酒気帯び運転	罰則	3年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金
	点数	25点 免許取消 13点 免許停止
飲酒検知拒否	罰則	3月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金